

## 省エネルギー運転（エコドライブ）研修の実施

平成17年2月16日に発効した京都議定書に基づく我が国のCO2排出削減目標達成に向けては、運輸部門全体からの排出量抑制について更なる努力を要する状況にあり、その一つの施策として、政府は、省エネ法（「エネルギー使用の合理化に関する法律」）を改正し、平成18年4月から実施し、運輸分野等の省エネ対策の一層の強化を図っております。

このため、公営バス事業においても率先して省エネルギー対策に取り組むとともに、現下の経営状況に鑑み、職員に対してもコスト意識を持たせ、その効率化に対する意識改革を図ることを目的に標記研修を実施しました。

### 【研修概要】

1. 日 時 平成27年6月18日(木)～19日(金)
  2. 場 所 クレフィール湖東交通安全研修所
  3. 研修日程 (別紙 省エネ運転研修時間割 参照)
  4. 参加都市 東京都、川崎市、横浜市、名古屋市、高槻市、伊丹市、尼崎市、  
宇部市、松江市、北九州市、鹿児島市 11都市
  5. 参加者数 33名
  6. 参加者の感想
    - (1) 日野自動車羽村の研修にも参加した経験がありましたが、私の営業所の路線ではなかなか実践していくことも難しく、行えるときに行う様な状況ですが、改めてエコドライブの必要性を再確認させてもらい仕事に積極的に活用していきます。
    - (2) 以前から何となく分かっていたが、目に見える形で良く理解できた。ただ、都市部の路線バスになればなるほど定時運行の確保は難しいと実感している。1500回転でシフトアップを実践したことがあるが、それだけで10分遅れたからだ。できるところとできないところがあるとは思うが、「早めのアクセルオフ」これは実践する価値があると思うので、いい勉強になった。
    - (3) 実体験を基にした講義は机上のものより重く感じます。事例を伺うと何時誰にでも起こりうることなので聞き入ってしまう内容でした。
    - (4) 安全の確保は輸送の生命であるということを改めて認識する事ができました。
- 生かされ生きる、生きて生かす。本当にそう思います。これからも今回の研修で得たことを忘れず、いただいたファイルを大切にしたいです。

- (5) KYTの再確認ができ大変参考になりました。
- (6) 危険予知のお話だけだと眠たくなるがモニタを併用で大変参考になりました。
- (7) 大変役に立ちました。また、参加したいと思いました。運転士、また、運行管理者どちらにも研修は役立ちます。これからも続けて下さい。等の感想がありました。

#### 【省エネ運転の実技】



インストラクターから省エネ運転の実技指導を受けている様子



インストラクターからバスの運転席から見た死角についての説明

【講演】

「事業用自動車の運行の安全を確保するために」

(講師 しずてつジャストライン(株) 運行支援課 八木 敏晴 氏)



【講演】

「ドライブレコーダーを活用した危険予知トレーニング(KYT)と  
運転において【みる】とは？」

(講師 独立行政法人 自動車事故対策機構 滋賀支所チーフ 豊田 奨氏)



【省エネルギー運転研修の参加者】

